

「ひろしま里山グッドアワード」募集開始！ ～中山間地域にあるものを活かした取組を表彰します～

中山間地域の資源を活かして、新しい価値やサービスの提供につなげる優れた活動を表彰し、そのプロセスやノウハウを共有することによって、更なる活動の普及促進を図るため、今年度も、「ひろしま里山グッドアワード」を実施します。

中山間地域を元気にするための活動を続けている方々が続々と誕生しています。過去の受賞者について取材をご希望の場合はお繋ぎしますので、中山間地域振興課までご連絡ください。

1. 昨年度の「さとやま未来大賞」受賞取組

島から始まる国際音楽祭～生口島魅力再発見プロジェクト

(実施主体：一般社団法人コジマ・ムジカ・コレギア)

生口島のベル・カントホールを主会場に、国内外で活躍するミュージシャンと地元の小学生、全国の高校生までの「音楽家の卵」、尾道ゆかりの演劇家・書道家・舞踊家らのコラボレーションによる音楽祭を開催するとともに、ホール前でマルシェを実施することにより、生口島における文化活動の促進を目指す取組。



バブル期の箱物投資に、音楽祭開催で命を与える取組を、民間で息長く続けていることは、真に賞賛に値する点や音響効果の評価は非常に高いが、地域に活かされていないベルカントホールという地域資源を積極的に利用している点が評価された。

2. 今年度の事業の概要

賞の名称	さとやま未来大賞：1件、未来のたね賞：1件、入賞：3件 ※一定の基準に満たなかった場合、該当なしとする場合もあります。
募集期間	令和6年6月17日（月）～7月31日（水）
募集対象	中山間地域ならではの多様な資源を活かして、新しい価値やサービスの提供につなげている優れた活動
応募方法	専用ホームページにより応募フォームを提出（自薦・他薦不問）
選考方法	(1) 1次審査（8月～9月） アドバイザーの意見を参考に、5件程度を選定 (2) 一般投票（10月15日（火）～11月30日（土）） インターネット投票を実施し、最も得票数の多い取組を「さとやま未来大賞」として決定し、2番目に多い取組を「未来のたね賞」、他の3取組を「入賞」とする。
アドバイザー	藻谷 浩介氏（株式会社 日本総合研究所 主席研究員） 新里 カオリ氏（立花テキスタイル研究所 所長） 指出 一正氏（株式会社 ソトコト・ネットワーク執行役員・『ソトコト』編集長）
表彰式	12月7日（土） ※尾道市内で実施予定

過去の取組についてはひろしま里山グッドアワードのホームページをご覧ください。

⇒ <https://good-award.jp/>

